

令和7年度京都市子育て環境日本一推進会議 「行動目標」及び「具体的行動」一覧

資料5

団体名	行動目標	具体的行動
京都府商工会議所連合会	多様な人財が活躍する社会の実現に向けてダイバーシティ経営の普及・啓発に取り組む。	大学等と連携したキャリア教育の推進や各種人材育成事業の実施を通じ、未来に向けて新しい価値を生み出す人財の創出と子どもや若者が活躍できる環境整備に取り組む。
京都府商工会連合会	京都府商工会連合会では、子どもや若者の職業体験や文化活動等の支援・啓発を通して、地域活性化を推進します。	京都府商工会連合会では、府内商工会の実施・参加する子ども向けや親子で参加できる体験教室、地域のスポーツ・文化イベント、高校生の進路相談などへの支援のほか、中小・小規模事業者の働き方改革支援などに取り組みます。
京都府中小企業団体中央会	京都府中小企業団体中央会では、京都府等と連携し、会員組合を通じて中小企業等の魅力ある職場づくりをサポート、中小企業から元気な京都を目指し、子ども・若者の未来を応援します。	会員組合を通じ中小企業等へ子育て支援施策等の情報提供及び伴走支援（HP、メルマガ、機関紙等を活用）
一般社団法人京都経営者協会	働き手のエンゲージメントを高め、若者をはじめ誰もが働きやすい働きがいのある職場環境づくりを進めます。	深刻な人材不足の中、労働生産性のさらなる向上を図る上では働き手のエンゲージメントを高めることが重要であり、柔軟な働き方やデジタル技術の活用など「働きやすさ」を進めるとともに、自律的な業務遂行や主体的なキャリア形成支援、公正な処遇制度の構築など「働きがい」を高めることが必要であり、会員の自己研鑽・相互研鑽の活動を一層充実していきます。
一般社団法人京都経済同友会	京都経済同友会では、子ども・若者の希望が叶う環境のために経済人がなすべきことについて、研鑽と実践に努めます。	子ども・若者の希望が叶う環境のために経済人がなすべきことについて、研究活動や全国各地の経済同友会との意見交換等を通じて、各会員の研鑽と実践につながるよう取り組みを進めてまいります。
公益社団法人京都工業会	過半数の社員が「自社は様々な境遇の子供たちの子育て環境が整った企業だ」と感じる会員企業の割合が50%以上となることを目指し、啓発活動に取り組みます。	会員企業の子育て支援活動の取組を取材して会報誌「京都工業会ニュース」やHPに掲載し、先進事例等の状況を共有するとともに、会員アンケート等で進捗状況を把握していきます。
京都商店連盟	京都商店連盟では、地元に誇りと地域愛を持った子供の育成に努めます。	地域には様々な文化や伝統が根付いています。 例えば、京都三条会商店街では、祇園祭の中御座神輿（三若神輿会）を担い、還幸祭には3基の神輿が商店街を巡行し、当日千本三条で神輿を迎える“子供お迎え提灯”の子供たちを募集し、間近で祭りに触れていただいております。 商店街は地域の祭礼等の自治活動の主体を担っており、子供たちに様々な活動を通して地元愛の醸成に努めます。
日本労働組合総連合会京都府連合会	連合京都では、令和7年度においても、京都府が最重点目標とする「子育てが楽しい風土づくり」を推奨し、広く周知します。	引き続き、連合京都に加盟する構成組織へ、「京都府子育て環境日本一推進会議」で確認された取り組み内容を情報共有し展開していきます。
京都学生祭典実行委員会	京都学生祭典実行委員会では、京都学生祭典を通して、子ども・若者はもちろん、たくさんの方々に楽しんでいただけるものとします。	京都学生祭典は毎年10月に平安神宮周辺で開催している学生プロデュースのお祭りであり、子ども・若者はもちろん幅広い年代の方に楽しんでいただけるものを目指します。また、運営側である学生にとって、実行委員会での活動が一人ひとりの未来に繋がるよう、様々な活動を通して学びの機会として取り組んでいきます。
一般社団法人京都府保育協会	一般社団法人京都府保育協会では、すべての子どもへのよりよい保育の探究とこども真ん中・みんな真ん中社会の実現を目指し、教育・保育活動をはじめさまざまな地域の公益的な取り組みを通じて、老若男女の誰もがいきいきと出会い、ふれあい、響き合うウェルビーイングな現在・未来を拓いていきます。	1. 子どもの育ちを保障します。 2. 子育て家庭を支えます。 3. 多様な連携と協働をつくります。 4. 子育て文化を育みます。 5. 子育て・子育てを支援する仕組みをつくります。
公益社団法人京都府私立幼稚園連盟	(公社)京都府私立幼稚園連盟では、子どもをまんなかにした社会の実現を目指し、子どもたちの成長と喜び、子育ての楽しさを感じられる幼稚園を運営します。	幼児期は生涯にわたる人格形成の根っこ(土台)づくりの時。 人・もの・ことなどの豊かな環境で、子どもたちをまんなかにしてご家族の皆様と手を取りながら、子どもたちの多様な成長を喜び、認め合い、子育ての奥深さ、素晴らしさを社会のたくさんの方々に広めていきたい。 そのような幼稚園でありたいと日々努力しています。
NPO 法人全国認定こども園協会京都府支部	こどもまんなか社会の実現を目指します。	地域のあたたかつながりの中で、子どもたちのウェルビーイングを育み、子ども真ん中の社会を目指します。 若い子育て世代も笑顔でいられる環境づくりに取り組みます。
NPO 法人子育ては親育て・みのりのもり劇場	「里山や自然」と「親子」の接点をつくり、未来人材を育成します。	自然の中で「遊び、体験し、学ぶ」機会を、子どもや若者、親子に提供することで、自然への畏敬と愛着、そして共生の大切さを肌で感じてもらいます。また、体験を通して豊かな感受性と自己肯定感、チャレンジ精神をはぐくみます。
NPO 法人働きたいおんなたちのネットワーク	働きたいネットでは、子ども・若者の希望が叶う環境づくりを目指し、こどもや子育て世代をはじめ、全ての人にとって暮らしやすい社会を目指します。	1. ならし就業…こどもの慣らし保育に合わせた保護者のならし就業の実施(随時)。 2. 若者の就職支援…若者の基礎的就職支援のための支援計画を継続する。 3. まるごとわたしサロン…子育て世代に対する各ライフステージに応じた支援の一つとして、ダブルケアや親の介護、家族計画、今後の就業希望についての相談支援の取り組みを実施する(年間24回程度)。 4. ヤングケアラー…こどものライフステージに応じた支援のひとつとして、ヤングケアラーに対する学習支援、食事提供の他、電子キーボードを備えて楽曲が弾けるような環境を整える(年間150回程度)。 5. 地域子育て支援拠点…①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進(年間410回程度)②子育て等に関する相談・援助の実施(年間410回程度)③地域の子育て関連情報の提供(年間410回程度)④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(年間50回程度)。
NPO 法人ライフプランニング京都支部	NPOライフプランニングでは、飲食店「あんきょうと」のサブスクリプション型婚活事業を通じて、若者の自然な出会いと結婚・子育てへの意識醸成を図ります。	・地域飲食店との連携による、定額制の出会い支援サービスを展開 ・婚活イベントや交流会を定期開催し、結婚・子育てへの一歩を後押し ・ライフプランや結婚・子育てに関する個別相談も実施 ・結婚後の夫婦支援や子育て家庭とのネットワークづくりにも取り組む予定
公益社団法人京都府青少年育成協会	公益社団法人京都府青少年育成協会では、「家族ふれあい大賞」「家庭の日絵画展」及び啓発事業等を通して子どもの”ええ顔”を広げる取り組みを行い、気運の醸成に努めます。	・「子育て環境日本一」に向けて、家庭内での微笑ましいふれあいを表現した絵画や写真の巡回展示やカレンダーを作成し、”ええ顔”を広げます。 ・啓発事業において、まつぼっくりでXmassツリーを作る工作体験などを通じてこどもが”ええ顔”になるような取組を実施します。

団体名	行動目標	具体的行動
公益社団法人京都府宅地建物取引業協会	京都宅建では、子育て世代の住宅ニーズの把握に努め、空き家等の活用相談を窓口として子育て世帯の住宅相談に応じ、住宅確保を応援します。	YouTube「京都宅建c h」にて京都府の子育て環境日本一推進に係る取組みを紹介する動画を配信し、併せて当協会の相談体制について周知を図ります。 無料相談日 京都府宅建会館：毎週金曜日 午後 北部無料相談所(綾部)：第1・第3金曜日 午後 空き家相談 随時受付（日程調整）
公益社団法人全日本不動産協会京都府本部	若者や女性が希望を持てる職業選択の幅を広げるため、「不動産業」の魅力をPRし、希望を持って「不動産業」を選択してもらえるようにする。	「不動産業」の魅力を若者や女性に伝え、不動産業の開業を支援する。 ・若者や女性向けの不動産開業支援セミナーの実施 ・大学等での「職業としての不動産業」の説明会の開催 ・青年部の活動を活発化し、若者の交流を活性化 ・女性向けの交流会等の実施
京都新聞	京都新聞は、次世代を担う人たちの未来を守り繋ぎ、人や地域の課題解決を目指して情報発信を行います。	これからあらゆるライフイベントを経験する若い世代が、自分やまわりの人の心身について知り、将来の選択肢を増やすための啓発キャンペーンを展開します。特に女性の健康課題に焦点を当て、さまざまな団体・企業と連携しながら紙面やWeb、イベントを通して、一人一人が自分ごととして考えられる風土づくりを目指します。
株式会社京都銀行	京都銀行では、地域社会への貢献のため金融経済教育の普及に向けた取組を促進し、子どもたちが楽しく学び、成長できる環境を提供いたします。	地域住民の金融リテラシー向上に貢献するため、金融経済教育プログラムを拡充します。独自コンテンツである親しみやすい補助教材などを活用し、小学生から大学生までの学生を対象に、金融経済教育の一層の普及と推進を図ります。
京都信用金庫	未来を担う子ども・若者たちの目線に立ち共に考える場を目指します。	地域の学校を対象に金融教育・セミナーを行い 未来に向けて子ども達の挑戦や選択肢の幅が広がる場を提供していきます。
京都中央信用金庫	子育て両立支援策を推進するために、地元中小企業者の職場環境整備を支援します。	多様な人材を中小企業者がより多く確保できるよう、当金庫グループ全体で人材紹介（人材紹介業）、副業を始めとした支援を行います。
京都北都信用金庫	京都北都信用金庫は、地域・顧客・職員のしあわせづくりを推進し、子育て環境のより一層の充実を図ります。	男女ともに育児休業取得率100%を達成するとともに、育児休業中の職員家族の環境づくりとして、育児休業中職員の懇談会を通じたコミュニティ形成やキャリア支援、復職支援を実施します。また、子育て中の地域住民の皆様にご各支店のロビースペースをキッズスペースやおむつ替え等に活用いただいたり、様々なライフプランの変化に応じた金融サポート等を通じて子ども・若者の未来をエールします。
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	弊社では子ども・若者が永く京都に住み続けるまちづくりに向けて、京都府・パートナー企業と一体となって、子ども・若者の希望が叶う環境づくりに取り組みます。	京都の未来を担う人材育成として子ども向けの職業体験会を開催。当社の地域ネットワークを生かし多種多様な企業・事業主と連携して京都の文化・伝統・地域性を感じられるイベントを成功させることで、子ども・若者が永く住み続けるまち京都の実現を目指します。
大塚製薬株式会社	大塚製薬は、京都府子育て環境日本一推進を健康づくりにおいて京都府との包括連携協定締結企業として支援します。	2018年3月に大塚製薬は京都府と地域活性化包括連携協定と共に、府内13市との包括連携協定を締結しております。（2025年5月現在）、トータルヘルスケアカンパニーとして多様性を尊重し子育て環境日本一推進を府民への健康維持・増進を主体に支援を行います。
株式会社湖池屋	湖池屋では美味しい商品を提供し、皆が“ええ顔”になれるよう協力します。	※現在、協賛している主なイベントは以下の通りです。 なんとにあんKidsカーニバル（南丹市国際交流協会） 京丹波子育て応援フェスタ（南丹広域振興局） じゅういちくんカップ少年サッカー大会（KCNなんたん） 交通安全フェアin南丹（京都府交通安全協会） 京都丹波トライアスロン大会in南丹（京都丹波トライアスロン） 南丹市大堰川ジョギング大会（南丹市スポーツ協会） コイケヤ杯争奪少年野球大会（南丹市・南丹市少年野球連盟） 現在、協賛しているイベントを中心に、今後も様々なイベントに参加して、皆さんが笑顔になれるよう、ご協力を惜しまないことを目標にします。
株式会社島津製作所	①社員と家族が子供と向き合う時間を増やすために、多様な働き方をより充実させて、一緒に夢を話し合う機会を広げていきます。 ②若手従業員が、業務を通して成長し、希望（キャリア）を叶えるための支援をしていきます。	①当社では、男女問わず育休取得率100%を目指し、相談窓口の運用や意向確認など育休が取得しやすい環境作りを継続します。また、フレックスタイムや時短勤務、ファミリーサポート休暇など各家庭の子育て状況に合わせた働き方ができる制度の利用促進にも引き続き取り組んでいきます。 ②新人研修や階層別研修や、自己啓発プログラムなどを通じて社員の自己実現と会社への貢献に繋がるキャリア開発を推進します。
株式会社SCREEN ホールディングス	SCREENグループでは、従業員一人ひとりのライフステージにあわせて、常に能力を発揮することができる環境づくりに取り組んでいます。	仕事と育児の両立をはじめ、働きやすい環境の諸整備（フレックス、在宅勤務、育児関連の休暇制度の充実、男性の育児参加促進、育児休暇中の学び支援など）に継続して取り組んでいきます。
株式会社ファミリーマート	株式会社ファミリーマートでは、「こども店長」イベントを通じたおしごと体験の実施やファミマフードドライブの展開店舗の拡大を通じて、子ども・若者の未来を応援します。	「こども店長」：どのような仕事があるのかを知ってもらい、レジでの接客体験、商品陳列等を通じて社会の仕組みを学びます。 「ファミマフードドライブ」：地域住民の方よりご家庭で余った食品を寄付いただき、地域の社会福祉協議会やこども食堂を運営されている団体さまを通じて、支援が必要な子ども達に届けます。
株式会社ローソン	ローソンは、子供・若者・その保護者にとってなくてはならない存在となり、京都の子育て環境・若者の未来や希望を応援をします。	・子ども食堂への寄附 ・府民の森（ハピローの森ネーミングライツ）キッズイベント開催 ・わくわくWorkLand JoyJobLandによる小中学生の教育活動 ・緑の募金を通じた緑化活動 ・店舗での子供・若者の見守り

団体名	行動目標	具体的行動
住友生命保険相互会社	住友生命では、スポーツ・文化・教育等へのイベント支援や各種取組みを通じて、子ども達の未来を応援します。	①今年で48回目となる全国こども絵画コンクールを開催し、子ども達の豊かな感性を育むお手伝いをいたします。 ②全日本バレーボール小学生大会に協賛し、地域活性イベントの提供、スポーツ支援の提供を行います。 ③小中学校へ金融教育、コミュニケーション、キャリア教育等の出前授業の実施いたします。
ソフトバンク株式会社	ソフトバンクでは、「自然とテクノロジーで広げよう、子ども・若者の未来の可能性」をテーマに活動します。	・親子植樹活動の企画（植樹植林活動） ・生成AIを活用した自然に関する事前学習の企画検討・実施 ・LINE等 SNSを活用した子育て支援活動の企画検討
第一生命保険株式会社	子ども・若者の希望が叶う豊かな街づくりの実現に向け地域の皆さまに、真っ直ぐに向き合い、持続可能な社会の実現を目指し行動します。	第一生命京都総合支社では、子ども・若者が将来において、経済的に豊かに暮らせるよう、社会保障制度やライフプランなどお役に立つ情報のご提供、「ライフサイクルゲーム」を通じた、金融リテラシー向上を行っています。
ダイドードリンコ株式会社	①「WEラブ赤ちゃんプロジェクト応援自販機」を企業の職場内向けに展開することにより、子育てに優しい職場風土づくりに貢献できるよう取り組みます。 ②自販機のペーパークラフトを活用し、大学生と子どもが交流できる機会を創出いたします。	①府内の公共施設へのおむつセット自販機展開に加え、府内企業内に向けてWEラブ自販機を展開することにより、職場内にて子育てに優しい職場・風土作りを京都で広げていくことを目指します。 ②子どもとの触れ合う機会が少なくなっている課題に対して貢献できるよう弊社の自販機のペーパークラフトを大学生とお子様と一緒に作成するイベントの開催いたします。（2024年度の継続）
東京海上日動火災保険株式会社	東京海上日動では京都府様、各自治体様と連携させて頂き子育て世帯を中心とした金融リテラシー向上セミナーを開催します。子育ての金銭的不安を取り除くことで子育て環境向上を目指し、子ども・若者の未来が輝く風土づくりに貢献します。	（内容）他都道府県で実施事例がある、子育てに必要な資金調達や資産形成についてのセミナーを開催する。 （周知方法）京都府様の子育て支援パスポートサイトまもっぷや各自治体様の子育て情宣ツールで周知のみご協力を頂く。 （開催方法）対面・オンライン共に実施可能。対面の場合は自治体様の子育て施設など子育て世帯の方が集まる場所での開催を行いたい。
西日本高速道路株式会社	NEXCO西日本では、社員が仕事が子育てを両立しやすい職場環境づくりに取り組むとともに、高速道路事業を通じて若者が安心して暮らせる社会の実現に貢献します。	・育児関係制度や柔軟な働き方に関する制度の更なる社内周知 ・SAPAにおけるベビーコーナー・ベビーカーの貸出、紙おむつの販売 ・建設工事現場における現場見学会の実施
西日本旅客鉄道株式会社	JR西日本では京都府等と連携し、子育てにやさしい環境づくりに向けて積極的に取り組みます。	・京都府等主催の子育て世代の外出を支援するためのイベント協力や情報発信を実施。（子育てマップまち歩きイベント） ・京都サンガF.C. および京都府と連携し、「京都サンガ F.C. ハートフルシート」を実施。 ・JR西日本こどもおでかけ応援ポータル「ミライ」にて、お子様と一緒に鉄道で楽しくおでかけするためのおでかけ情報やコンテンツ情報を提供。 ・「Donald・MacDonald・ハウス 京都（京都ハウス）」開設の協力。
日本生命保険相互会社	日本生命保険相互会社では京都府との包括連携協定に基づく取組みとして「こども・少子化対策」「働き方改革・女性の活躍」について情報発信や環境作りに貢献します。	子育てしやすい社会について「N I S S A Y ペンギンプロジェクト」で情報発信を行い、子育ての壁や不安をなくす新しい価値提供に取り組めます。
日本郵便株式会社	日本郵便株式会社では「子ども・若者の希望が叶う環境」を京都中に広げるため、若者が働きやすい職場環境づくりとともに、子どもの将来の選択肢を広げるための取組を推進します。	・育児と両立しながら働き続けられる企業を目指し、法定を上回る育児休業取得を推進するとともに、取得後の社員への研修を行う等、安心して働き続けやすい環境を構築してまいります。 【グループ目標】 男女ともに育児休業取得率：100% 男性の平均取得日数：4週間以上 ・職場見学や手紙の書き方体験授業の実施、地域イベントへの参加を通じて、子ども達が郵便局の仕事や乗り物、手紙文化に触れられる機会を設け、将来の職業の選択の幅を広げるきっかけづくりを推進してまいります。 ・子ども110番活動の実施や京都府オレンジリボンキャンペーンへの協力等、子どもたちが安心・安全に過ごせる環境づくりを推進してまいります。
三井住友海上火災保険株式会社	当社では高校生を中心とした学生に対し、金融リテラシーの向上に向け各学校に出前授業を行い、共同テーマ・共同プロジェクト実現の一助となります。	公立・私立問わず各学校への当社社員による金融リテラシー向上のための出前授業を通じて、損害保険や防災・減災等に関する教育を実施していきます。
明治安田生命保険相互会社	明治安田生命では、「こどもたちを見守り・育てる」をテーマに安心・安全な環境づくりへの取組みに加え、若手社会人の婚活機運醸成を目的として婚活イベント『京の都恋プロジェクト』を実施して参ります。	①「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」周知活動・イベントへの参加 ②職員全員による「子ども見守り活動」推進 ③小中高学校・児童館等での「金融保険授業（出張授業）」の実施 ④京都府・きょうと婚活応援センターとの協業による婚活イベントの開催
ヤマト運輸株式会社	ヤマト運輸では、子育て世代の買い物の負担を軽減します！	自治体からの要請があれば、店舗からご自宅へオムツなどのかさばる物や重い物などを配達し、外出が難しい子育て世代の買い物の負担を軽減できるよう手助けを行います。

団体名	行動目標	具体的行動
京都労働局	京都労働局では、育児・介護休業法の施行業務を通じて、育児休業、育児のための支援制度の定着を図ります。また、仕事と育児の両立支援に取り組む事業主を支援します。若者に対しては、労働法制の周知活動を通じ、就労トラブルを未然に防ぎ、安心して働くことのできる職場環境づくりを進めます。	育児・介護休業法に定められた育児休業等の制度の定着を行政指導等により図ってまいります。また、働きながら子育てを行う労働者の雇用の継続を図るための就業環境整備に取り組む事業主に対して、両立支援等助成金を支給することにより、事業主の取組促進及び労働者の雇用の安定を図ります。 さらに若者に対する取組として、経営者団体や高校、専門学校、大学等へ労働法制出張セミナーを実施し、アルバイトを含む就労に関わるトラブルの未然防止の取組を行います。
京都府	府民の皆様をはじめ、企業、地域、関係団体、府内市町村など、様々な分野の方々にご参画いただきながら、子どもや若者の希望が叶う環境を京都中に広げて参ります。	令和 6 年度に福知山市、八幡市で開催し、子どもと若者の交流を生み出した「京都版ミニ・ミュンヘン」について、令和 7 年度は京都市で開催します。より多くの子どもと若者が、自分たちの未来やまちづくりについて考える機会を創出します。
京都府教育委員会	経済的条件・地域条件に関わらない教育環境を整えることで、全ての子どもたちの夢を応援します。	京都府教育委員会においては、多様な子どもたち一人一人を大切にし、誰一人取り残すことなく、個性や能力を最大限伸ばす教育を推進しているところです。 その中でも府立高校においては、経済的条件・地域条件に関わらず全ての子どもの夢の実現に向け、様々な場で活躍でき、社会に貢献する人へと育てもらうため、府立高校生の留学機会を拡充するとともに、ＩＣＴ等を活用して府内どこからでも特別講座を受けられる教育環境をつくるなどの取組を実施します。
京都市	京都市では、全ての子ども・若者・子育て家庭の最善の利益を「まんなか」に、「子育て・教育環境日本一」を実感できるまち、「こどもまんなか」のまち・京都を実現します。	①子ども・若者、子育てにやさしい「こどもまんなか社会」をつくる ②子ども・若者の意見を聴き、反映させる ③子ども・若者の「居場所」と「出番」をつくる ④京都ならではの様々な遊びと体験ができる機会をつくる ⑤多様な支援ニーズに対応する
京都市市長会	京都市市長会では、府内各市と連携して子育て環境日本一の実現に努めます。	京都市市長会では、毎年度府内各市の要望をとりまとめて、国及び京都府への要望活動を行っています。 令和 7 年度も国及び京都府に対する要望を通じて、「子ども・子育て支援施策の充実、子育てにやさしいまちづくりの推進」の実現に努めます。
京都府町村会	府内町村では、子ども・若者の誰もが夢や希望をかなえられる地域を実現するため、これからも先進的且つ魅力的な町づくりに積極的に取り組んでまいります。	府内町村は、これからも府、国、関係団体と連携し、それぞれの地域の特色を最大限にいかしながら、子ども・若者が安心してその地域に住み続け、誰もが夢や希望を実現できる社会を目指して、全力で取り組んでまいります。